

日本高専学会 2022年度 第4回理事会 議事録

日 時 2023年2月18日(土) 13時00分～17時20分

場 所 オンライン会議

出席者：会長 山下哲(木更津高専)

理事 江原史朗(宇部高専)、松本高志(阿南高専)、神田佳一(明石高専)、土井智晴(大阪府大高専)、北野健一(大阪府大高専)、鈴木昌一(鈴鹿高専)、坂東将光(近大高専)

次期理事 出口智昭(有明)

欠席者：宇野宏司(神戸高専)、梶間由幸(米子高専)、南部幸久(有明高専)

1. 会長から

会員参加型の学会誌、研究助成および研究会の普及について提案が行われた。

2. 役員選考委員会

理事の立候補者が全員信任されたことが報告された。

次期役員の役割分担について確認が行われ、5月の総会までに引継ぎを行うことを確認した。

3. 企画委員会

研究助成について、現在応募されているものについて審査中であることが報告された。

申請書類についてフォーマットの軽微な修正を行うこととし、研究課題の文字数を20文字以内から40文字以内と変更することが決定された。

また、5月総会にて例年通りシンポジウムを開催し、テーマは社会実装とすることが決定された。

4. 協議事項

● 研究会活動報告

一般科目の効果的AL教育法開発研究会より活動の報告があった。

● MLによる広報

「KOSEN プロフェッショナル・コミュニケーション研究会」を学会メーリングリストで流してほしいという要望があり行うこととした。

● 学会紹介リーフレット

学会紹介リーフレットの作成について意見交換が行われた。

5. 学会誌編集委員会

今後の学会誌のテーマ等について紹介があった。

6. 論文審査委員会

現在査読中の論文が8件であるとの報告があった。

また、投稿できる論文の範囲について議論があり、採択率の公開について提案があった。

教員の投稿論文について、最優秀のものを表彰することについて検討することとなった。

7. 表彰選考委員会

研究奨励賞の受賞者について報告があり承認された。活動奨励書の募集についても承認された。

また、年会講演会学生優秀ポスター賞の改善に向けての案が提案され、承認された。

8. 財務委員会

財務状況と入退会状況について報告があった。

また、バザールバザールの組織管理者の変更についての報告があった。

9. 年会実行委員会

来年度の学生ポスター発表の形式とスケジュールについて議論が行われ、案内ポスターについて確認が行われた。

また、来年度年会の募集セッションについても議論が行われた。

その他、年会の予算案やホテルについても報告があった。

10. 広報委員会

学会 HP とメーリングリストが滞りなく運用できていることが報告された。

11. その他

5月の総会と理事会の実施方法について検討が行われた。